

# 一年間、諸君から学ぶことは多かった

一年が、あっと言う間に過ぎました。間もなく、「出発式」。諸君と切磋琢磨した一年を振り返りながら、新しい出発の時を迎えます。今年一年を通じて振り返ると、私が諸君から教えられたことが多かったことに気付きます。

## 身延山登山の思い出

中でも、身延山への登山は忘れがたい思い出です。私のような年齢になると、人から誘われない限り、山に登るようなことはありません。だから、「塾長も歩いて登られますか？」と聞かれた時には、内心、「当然」と答えていました。しかし、やる気と根性だけでは山には登れません。年齢や体力を考えたら、一抹の不安がありました。しかし、塾生諸君に迷惑を掛けることもなく、無事に頂上に立つことができたことは、忘れられない思い出の一つです。身延山から見た富士山の端麗な姿は、今なお、まぶたに焼き付いています。

私は、自分が登るのに精いっぱいでした。しかし、塾生諸君は、頂上に立った後、熱いコーヒーをふるまってくれました。持参した水を沸かすために、どれほど重たい荷物を背負っていたことか。しかも、山頂に近付くと、私よりもはるかに先を歩いて、前もって湯を沸かしてくれていたのです。そんな心遣いの一つ一つに、塾生諸君の心の絆の深まりを感じました。

## キッチンを使った例会のぬくもり

もうひとつ教えられたことは、例会での食事作りです。塾生諸君が、食材にこだわり、心を込めて作ってくれた食事のおいしさもまた、うれしい思い出です。手作りの食事がどれほど、人の心を優しく、温かくしてくれるかを、改めて教えられました。

私は、「飲み放題・食べ放題」を売り物にする店が嫌いです。氏素性のはっきりしないものを食べるほど、気持ちの悪いものはありません。まして、いくら食べても価格が同じだから、ついつい、食べる方もぞんざいになります。まさに、「食の乱れは心の乱れ」と思わせられます。今年は、数回、キッチンで例会がありました。そして、山梨の食材にこだわり、塾生諸君が、手作りの食事を用意してくれました。

その時の和やかな雰囲気、穏やかな空気も、私にとっては、大きな学びでした。手作りした食事を、みんなで一緒に食べる。そんな当たり前のことが、私達の心を幸せにしてくれるのです。古来、「食卓を囲む」という言葉があります。それは、「心の絆を結ぶ」意味でもあったのです。そのことを、塾生諸君から教えられた気がします。私達は、「便利になることよりも、幸せになること」をめざそうではありません。

『夢甲斐塾』  
塾長 上甲 晃

※裏面に続いています

## ① 『インターネット青年塾』に登録してください

デイリーメッセージをお送りするのも、あと一回になりました。これからは、是非とも、有償購読(年間6,000円)していただきたいのですが、むしろ、『インターネット青年塾』に登録していただく方が良いかもしれません。

年会費は、3,000円。さらに、私の『デイリーメッセージ』を即日見ていただくことができます。また、私が展開する様々な活動の様子や、参加の募集も掲載しています。私と諸君の関係を継続する一番良い方法かと思えます。

登録をお待ちしています。`志ネットワーク`のホームページから申し込みができます。また、参加費用は、インターネットバンキングで振り込めます。

## ② 携帯のメルマガに登録してください

既に登録していただいていることと思いますが、改めて、毎朝七時に、あなたの携帯電話に私のメッセージを送信する`メルマガ`も、あなたと私を繋ぐ一つの方法です。こちらは、登録費無料です。

登録の方法は、一度だけ、空メールを下記のアドレスに送るだけです。

[ibamoto@star7.jp](mailto:ibamoto@star7.jp)

ご縁はとこしえ。どうぞ、よろしく申し上げます。